

新堀小学校[第3学年]にいぼりッチタイム 年間指導計画

1 単元名 「新堀小全力オリンピック～めざせ金メダル～」(14時間扱い+他教科等14時間)

2 単元の目標

オリンピックについて調べる活動を通して、スポーツの価値を理解したり、海外の文化などの多様性に関する理解を深めたりするして、学んだことを、将来、国際社会や地域社会で活動していくための貴重な機会やかけがえのない財産にしようとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
オリンピックの精神(歴史、意義、価値、役割等)や競技種目の特徴やルール、参加国・地域の歴史・文化等について探求することで、知識やその探求技能を身に付けることができる。	オリンピックの精神(歴史、意義、価値、役割等)や競技種目の特徴やルール、参加国・地域の歴史・文化等について、自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができる。	オリンピックの精神(歴史、意義、価値、役割等)や競技種目の特徴やルール、参加国・地域の歴史・文化等についての探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができる。

過程	○主な学習内容 ※東京2020教育プログラム 「よい、ドン!」活用	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	にいぼりッチタイム
課題の 設定 時間	○課題の見付け方 ①オリンピック記録を調べる。 (槍投げ、100M、走り幅跳び、走り高跳び) ②競技体験をする。(1時間) ③課題決定とグループ作り (1時間)	・映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・児童の新体力テストの記録とオリンピック記録を比較し、興味をもちながら学習ができるようにする。	「新体力テスト」 → 「走り幅跳び、走り高跳び、槍投げの世界記録実感」 → 「出場国についての文化理解」 → 「世界の人々や文化に関心をもつ」 ←	【教科等】 「関連する内容」(時期) 【体育】「新体力テスト」(4・5月) 【算数】「長さをはかろう」(5月) 【外国語】「世界の様々な言語とあいさつ」(4月) 【道徳】「いつかオーストラリアへ」(3月)
情報 の 収集 時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ④調べる分担や発表方法について話し合う。(1時間) ⑤オリンピックノートを作り、インターネットや書籍などを活用して調べる。(3時間)	・調べたことが、どの情報か、いつの情報かを明らかにして記録できるようにする。 ・図書室の本には数に限りがあるため、市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。 ★知識やその探求技能を身に付けることができている。【知識および技能】(記録ノート)	「調べる活動」 ←	【国語】「調べたことをほうこくしよう」(11月)
整理 ・ 分析 時間	○情報整理の仕方 ⑥調べたことを基に、情報を整理・分析する。(1時間) ○自分の考えの表し方 記事や発表物についての自分の考えを整理する。(4時間) ⑦調べたこと(オリンピック種目や参加国、歴史など)をまとめていく。	・見る人にどのような働きかけを行う資料を作るのかを明らかにさせることで、見る人の興味をひく発表資料を作ることができるようにする。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚に訴える見やすい資料作りができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができる。【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」 → 「図や資料の効果的な使い方」 → 「資料を分類整理して表やグラフに表す」 →	【国語】「すじみちを立てて発表しよう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する。(6月) 【国語】「生き物のとくちょうをくらべて書こう」(6月) 【算数】「見やすく整理して表そう」(3月)
まとめ ・ 表現 時間	○効果的な伝え方 ⑧学級・学年や保護者等を招いて、発表会を開く。(2時間) ⑨体験や発表等を通して、考えたことをまとめる。(1時間)		「国や郷土を愛する態度」 →	【道徳】「わたしの見たニッポン」(9月)

1 単元名 「ラグビータウン熊谷を盛り上げよう」(14時間扱い)

2 単元の見どころ

ラグビータウン熊谷のよさを見付けたり、調べたりして、ラグビータウンとしての熊谷を探求する活動を通して、ラグビータウン熊谷をアピールしようとする人々の思いに気付き、仲間と協力して知恵を出し合い、問題の解決方法を考えるとともに、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
ラグビー・オリパラの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷について探求することで、知識やその探求技能を身に付けることができる。	ラグビー・オリパラの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷について、自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができる。	ラグビー・オリパラの競技、またラグビーワールドカップの会場となる熊谷についての探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができる。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 2時間	○課題の見付け方 ①ラグビー・オリパラクイズを楽しみながら、それらを知ることを知る。 ②映像などを見て競技について知る。 ③クイズの作り方、出し方などについて知る。(1時間) ④課題決定とグループ作り(1時間)	・映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・クイズ大会を行うことで、楽しみながら学習ができることに気づけるようにする。	「オリンピックの精神」 「クイズの出し方」(4月)	【道徳】「目標をもってねばり強く」(9月) 【国語】「聞き取りクイズをしよう」クイズを通して大事なことを分かりやすく話したり聞き取ったりする(4月)
情報の収集 4時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ⑤調べる分担や発表方法について話し合う。(1時間) ⑥ラグビー・オリパラノートを作り、インターネットや書籍などを活用して調べる。(3時間)	・調べたことが、どの情報か、いつの情報かを明らかにして記録できるようにする。 ・図書室の本には数に限りがあるため、市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。 ★知識やその探求技能を身に付けることができる。【知識および技能】(記録ノート)	「調べる活動」 「ラグビーや駅前のラグビーモニュメント」 「砲丸投げの玉の重さ(川口市)」	【国語】「図書館へ行こう」知りたいことに応じた本を探して読み、必要な事柄を記録する。 【社会】「市の様子」市の施設や環境について学ぶ(5月) 【算数】「重さのたんいとはかり方」(11月)
整理・分析 5時間	○情報整理の仕方 ⑦調べたことを大切なことの順に整理する。(1時間) ○自分の考えの表し方 記事や発表物についての自分の考えを整理する。(4時間) ⑧調べたこと(ラグビーワールドカップやオリンピックシンボルの形や色、並び方など)をまとめていく。	・見る人にどのようなはたらきかけを行う資料を作るのかを明らかにさせることで、みる人の興味をひく発表資料をつくることのできるようになる。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができる【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」 「マークやシンボル」	【国語】「すじみちを立てて発表しよう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する(6月) 【図工】「自分マーク」をつくりお話を作って伝え合う(2月)
まとめ・表現 3時間	○効果的な伝え方 ⑨学級・学年や保護者等を招いて、ラグビー・オリパラクイズ大会を開く。(2時間) ⑩体験や発表等を通して、考えたことをまとめる。(1時間)			

1 単元名 「もっと知りたいな熊谷」(24時間扱い)

2 単元の目標

自分たちの住んでいる熊谷のよさを見付けたり、地域の人のお話を聞いたりして、自分たちの市をよりよくするための活動を通して、熊谷市に関わっている人々の思いに気づき、仲間と協力して知恵を出し合い、問題の解決方法を考えるとともに、学んだことを自らの生活に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
自分たちの住んでいる熊谷の歴史や施設について探求することで、知識やその探求技能を身に付けることができる。	自分たちの住んでいる熊谷の歴史や施設について、自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができる。	自分たちの住んでいる歴史ある熊谷に誇りを持ち探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができる。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連 【教科等】「関連する内容」(時期)	
			にいぼりッチタイム	【教科等】 「関連する内容」(時期)
課題の 設定 6時間	○課題の見付け方 ①熊谷について知っていることや感じていることなど話し合う。 ②熊谷のことに詳しいゲストティーチャーから歴史に触れる。 ③自分が調べてみたい内容をまとめ学習計画を立てる。(1時間) ④課題決定とグループ作り(1時間)	・社会科見学を想起させ、市内の施設や行事などについて確認させる。 ※熊谷郷土カルタの活用 ・熊谷の歴史や市の発展、様々な施設について話を聞くことで自分の課題について考えさせる。 ・児童が調べたいと思っていることを分類し、学習計画を立案する。 ★社会科で得た知識を総合の学習に生かすことができる。	「熊谷市について」 「クイズの出し方」(4月)	→【社会】「わたしたちのまち熊谷市」(4月) →【社会】「かわってきた人々の暮らし」(2月) ←【国語】「聞き取りクイズをしよう」クイズを通して大事なことを分かりやすく話したり聞き取ったりする(4月)
情報の 収集 10時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ⑤くわしく調べたいことを計画にそって分担し話し合う。(時間) ⑥熊谷を紹介しようノートを作り、(熊谷の年間行事・歴史・施設・産業など)インターネットや書籍などを活用して調べる。(時間)	・調べた情報は、いつ・どこかの情報を明らかにして記録できるようにする。 ・図書室の本には数に限りがあるため、市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。 ・副読本「くまがや」も確認する。 ★知識やその探求技能を身に着けることができる。【知識および技能】(記録ノート)	「調べる活動」	←【国語】「図書館へ行こう」知りたいことに応じた本を探して読み、必要な事柄を記録する。 ←【社会】「市の様子」市の施設や環境について学ぶ(5月)
整理・ 分析 4時間	○情報整理の仕方 ①調べたこと歴史や魅力について考える。(1時間) ○自分の考えの表し方 記事や発表物についての自分の考えを整理する。 ⑧調べたこと(熊谷の年間行事・歴史・施設・産業など)をまとめていく。(3時間)	・今まで調べたことについて再度まとめ熊谷の歴史や魅力について考えさせる。 ・みる人の興味をひく発表資料をつくらることができるようにする。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができる【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」 「マークやシンボル」	→【国語】「すじみちを立てて発表しよう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する(6月) →【図工】「自分マーク」をつくりお話を作って伝え合う(2月)
まとめ の 表現 ひろ める 4時間	○効果的な伝え方 ⑨学級・学年の発表会を開く。(2時間) ⑩体験や発表等を通して、考えたことをまとめる。(2時間)	・聞き手を意識したまとめ方や発表の仕方を考えさせる。 ・友達の発表の良いところを見つけたら、発表内容を記録したりしながら、自己の理解も高める。 ・単元を通しての振り返りができるようにする。 ★探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができる。 【学びに向かう力・人間性】(振り返りシート、発表内容、態度)		